



南中学校区人権学習推進委員会

テーマ「人権が守られ、すべての人が大切にされるまちづくりをめざして」
重点課題「子ども・障がい者・高齢者」

南風ふれあい人権弁論の会

小・中学校の児童・生徒と大人の方々の発表から、異なる世代の考え方や思いを知ることにより心の交流が一層深まり、そのことがすべての人が大切にされるまちづくりを推進する大きな力になると思い、平成16年度から毎年11月に開催しており、100名を超える参加者があります。

発表者は、大高・旭丘・中島・倉敷南小学校から各1名、南中学校から2名、4小学校区から成人各1名の計10名が熱い思いを発表してくださり、聞いていていつも新たな感動を覚えます。

発表者に対する賞は、優劣をつけるのではなく努力を讃えるため、発表にふさわしい賞名をつけ表彰しております。

弁論の感想も過半数を超える参加者が書いてくださり、心の琴線にふれた、涙がでるほどよかった、自分の生き方を見直すきっかけになったなどの感想が寄せられかつ、来年以降もずっと継続して開催してほしいとの要望も多いため、この会を南中学校区の宝として続けていきたいと思っております。

※ たくさんの感想文をいただきました。その一部を紹介します。

素晴らしい内容と立派な発表に感動しました。小・中学生の皆さんがいろいろな事に興味をもち、自分の言葉で表現している事に驚きさえありました。普段、何気なく生活している一つひとつを改めて見つめ直す良い機会となりました。

毎日の生活に追われているからではなく、だからこそ、全体的に周りに目を向けることで生活での喜びや余裕が生まれてくるのではと感じる事ができました。素晴らしかったです。

小学生から大人まで、それぞれの分野での考え方には色々と考えさせられる部分がありました。多くの方が人権に対して考える場が今後必要だと思いました。

大人は子どもに対して背中をみせることができるよう努めるべきだし、子どもはその背中をみて大きく育て欲しい。地域一体となって、心の豊かな人を育てる必要があると思いました。

【第8回 南風ふれあい人権弁論の会】

